

intra-mart Accel Platform / Accelシリーズ

2025 Spring アップデート情報

© 2025 NTT DATA INTRAMART Corporation



2025
Spring

目次



- 本資料は開発中の画面が含まれている場合があります。
- 最新の情報は[リリースノート](#)をご確認ください。

1. 製品開発・アップデート方針

2. 2025 Spring 主要トピックス

3. 生成AI活用機能

4. ローコード開発/DevOps機能

5. BPM機能

6. その他のアップデート

7. Appendix

※目次タイトルをクリックすることでページに移動できます



01

製品開発・アップデート方針

intra-mart Accel Platformが目指すもの



デジタル業務改革、もっと手軽に
エンタープライズ・ローコードプラットフォームで実現
Making digital business transformation easier by Enterprise Low-Code Platform

intra-mart Accel Platformは、
企業のデジタル業務改革を実現するための
機能強化を実施しています。

業務の効率化をスピーディーに実現可能な
エンタープライズ・ローコードプラットフォームとして、
全体最適化されたシステムの開発・運用が可能な
プラットフォームを目指しています。





開発・アップデート方針



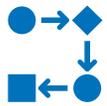
1. 先進技術をローコードで活用

生成AIなどの先進技術を駆使したアプリケーション開発を、スピーディーかつ手軽に実現するためのローコード機能の強化を実施しています。



2. 小さなスタートから持続的な成長へ

部門単位の小規模のシステム開発から全社規模の開発までをサポートした、DevOps機能の強化を実施しています。開発体験の統一と開発生産性の向上を目指します。



3. 正確な業務把握から全体最適へ

業務プロセス改革を実現するためのプロセス可視化から改善・実装に至るまでの、上流工程の要件定義を支援するBPM/ワークフロー機能を強化し、業務の全体最適化と自動化を実現するための開発を実施しています。



4. システムを繋いで業務を効率化

既存システムや他製品・サービスとの柔軟な連携が可能となるための機能強化を実施しています。例えば、既存の基幹システムはそのままの運用で、intra-martは基幹システムを拡張したシステムとして運用する、などの柔軟なシステム開発の実現を目指します。



エンタープライズ・ローコードプラットフォームの実現へ



2025 Springの機能強化テーマ・ポイント

開発者体験と利用者体験の向上



開発効率の向上

強化ポイント

生成AIによるアプリケーション作成支援

テスト機能によるアプリケーション品質向上と試験工程の短縮

Accel Studioの開発資材管理(構成管理)機能の強化



業務生産性の向上

強化ポイント

業務アプリケーションへのAI機能の組み込みを容易に

業務プロセスモニタリング機能による分析・目標管理

UI/UX改善

開発者の皆様がUXを追求した業務アプリケーションを効率的に開発できるよう、DevOpsを加速する開発ツール強化と生成AIによる開発支援機能強化を重点的に行いました。開発者が質の高いアプリケーションを迅速に提供し、エンドユーザーの皆様に優れたUXをお届け出来るよう、機能強化に取り組んでいます。



02

2025 Spring 主要トピックス



2025 Spring 主要トピックス

1

生成AI活用機能の強化

- 対話型によるアプリケーション作成支援機能を追加(Accel Studio)
- ローコード開発によるAIアシスタント開発(IM-LogicDesigner)

2

ローコード開発/DevOps機能の強化

- ローコード開発アプリケーションのテスト機能を追加(Accel Studio)
- アプリケーション資材管理機能の強化(Accel Studio Git連携機能)

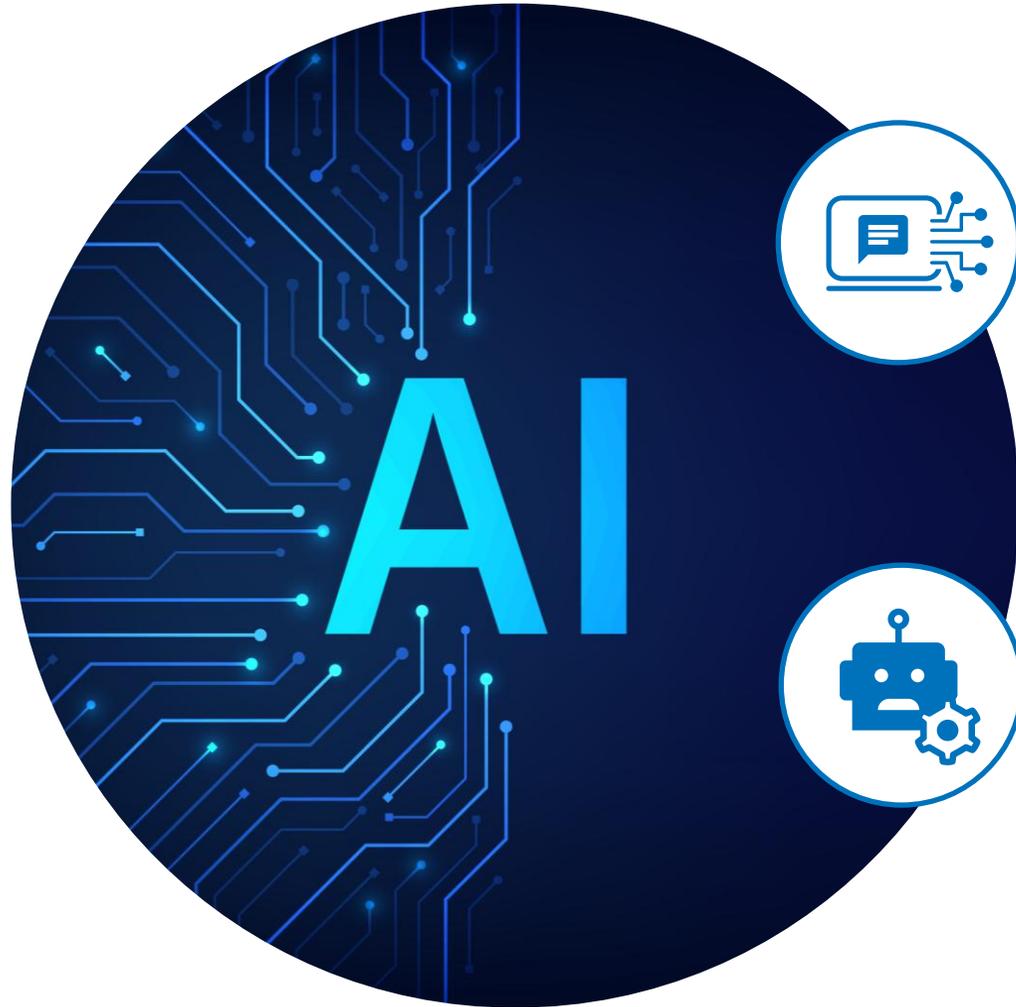
3

BPM機能の強化

- 目標達成状況確認やタスク差配が可能なプロセスモニタ画面を追加
- 設計ノウハウやサンプルを記載したユースケースカタログの公開



①生成AI活用機能の強化



対話型によるアプリケーション作成支援機能を追加

チャット形式の質問をベースにアプリケーション作成に必要な項目をAIが自動で入力し、画面や処理を自動で生成する機能を追加しました。プログラミングの知識が少なくても、手軽にアプリケーションのイメージを具現化できるため、開発初期の要件定義やプロトタイプ作成に役立ちます。

ローコード開発によるAIアシスタント開発

業務ロジック開発機能(IM-LogicDesigner)において、AI連携処理がローコードで開発可能になりました。開発者は、AIアシスタントを組み込んだ業務アプリケーションを容易に開発でき、利用者はAIによる業務支援を享受できます。これにより、開発者は開発期間を短縮し、利用者はより高度な業務効率化を実現できます。



②ローコード開発/DevOps機能の強化



ローコード開発アプリケーションのテスト機能を追加

Accel Studioで開発したアプリケーションのテスト機能が新たに搭載され、開発者はローコードで作成したアプリケーションのテストを自動化し、繰り返し実行することが可能です。これにより、テスト工程における手作業が減少し、開発者はより重要な開発業務に集中できるようになります。

アプリケーション資材管理機能の強化

アプリケーション資材管理機能の強化により、リモートリポジトリ連携時の差分表示が可能になりました。Accel Studioからリモートリポジトリへのアップロード前に変更点を確認できるため、意図しない修正を未然に防ぎ、開発の安定性を高めます。チーム開発におけるバージョン管理を強化し、よりスムーズな開発サイクルを実現します。



③BPM機能の強化



プロセスモニタ画面を追加

プロセスモニタ画面が追加され、IM-BPMのプロセス分析機能が強化されました。KPI設定による目標値と実績値の比較、タスク実行状況の可視化により、業務管理者はリアルタイムに業務状況を把握できます。遅延タスクの特定や負荷分散など、迅速な対応を可能にし、業務効率の向上に貢献します。

ユースケースカタログの公開

IM-BPM開発者向けに、業務プロセス分析のノウハウをまとめた『ユースケースカタログ』を公開しました。モニタリングや分析に必要な設定、実運用に近いサンプルを掲載しています。開発者はこのカタログを活用することで、より高度な業務プロセス改善を実現できます。



03

生成AI活用機能



intra-martにおける生成AI活用の開発方向性

intra-martでは以下のような3段階のステップで生成AIを活用した各種機能追加を予定しています。
2024 Autumnに引き続き、2025 Springでは、Step2、3の実現に向けた生成AI関連機能をリリースしました。



生成AIの活用領域の拡大

Step2 システム開発者向けの機能強化

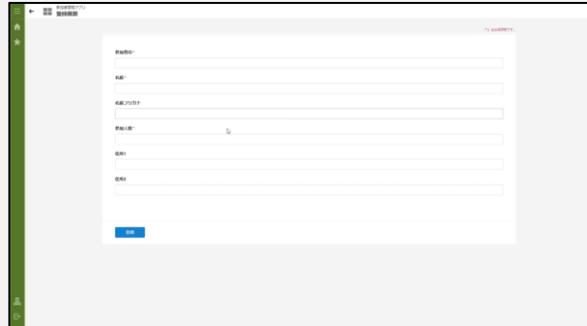
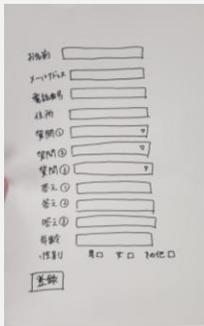
💡 簡単にアプリのプロトタイプを作成可能

アプリケーション作成支援機能を追加(後述)

チャット形式の質問をベースにアプリケーション作成に必要な項目をAIが自動で入力し、画面や処理を自動で生成。

Accel Studio(アプリケーション管理機能)

手書きイメージやデータから、画面項目を自動生成



Step3 システム利用者向けの機能強化

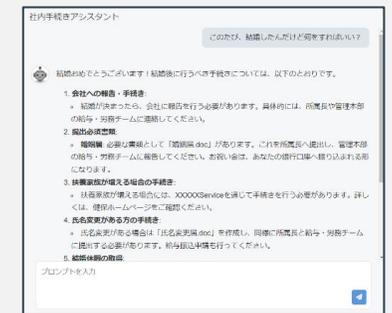
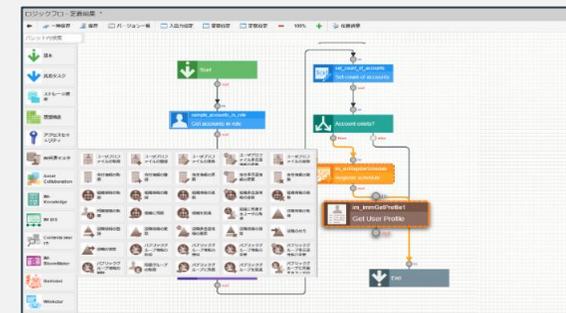
💡 業務アプリへのAIの組み込みが容易に

ローコード開発によるAIアシスタント開発(後述)

企業の独自データを活用したAIアシスタントをローコードで開発可能。

IM-LogicDesigner(業務ロジック作成機能)

アシスタントの処理を作成し、チャット画面で実行





アプリケーション作成支援機能の追加

作成したいアプリケーションの内容を対話形式で指示することで、**必要なデータ項目をAIが自動補完**します。
この機能を利用して画面イメージを素早く具現化し、**開発プロセス全体の時間短縮に貢献**します。

Accel Studio アプリケーション作成アシスタント



1. 作成したいアプリケーションの内容を入力
(文字や画像データ)

2. AIが入力内容を解析し、必要なデータ項目を
AIが自動補完する

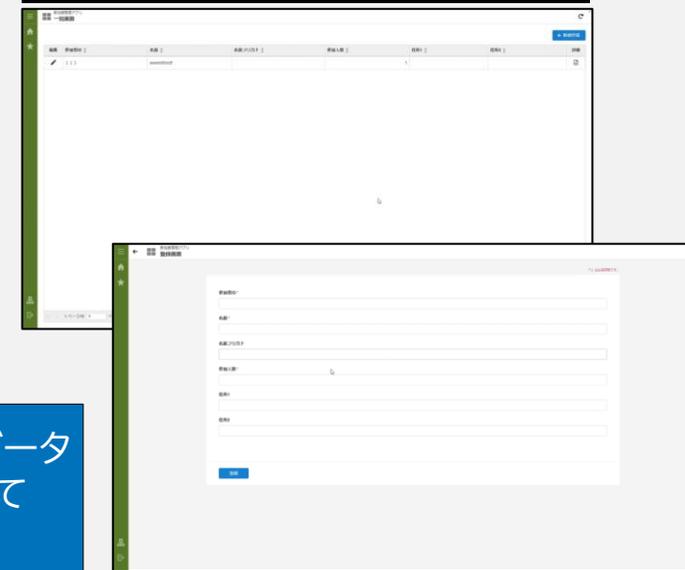
アプリケーション作成画面

AIにより自動補完されたデータ項目

項目名	詳細	データ型	表示形式	最大桁数	主キー	必須	検索条件
参加者ID	participant_id	文字列	テキストボックス	50	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
名前	name	文字列	テキストボックス	50	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
名前フリガナ	kana	文字列	テキストボックス	50	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
参加人数	participant_count	整数	数値ボックス	10	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
住所1	address_1	文字列	テキストボックス	255	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
住所2	address_2	文字列	テキストボックス	255	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

3. AIが自動補完したデータ項目を確認・修正して
ビルドを実行

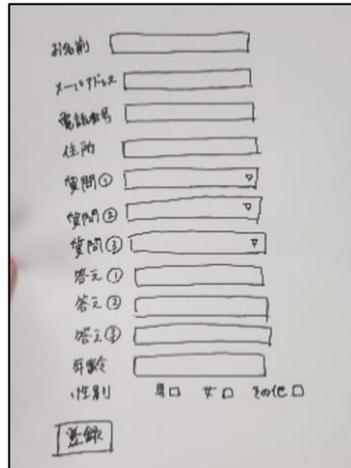
アプリケーション画面例(一覧・登録)



アシスタントへの指示方法

アプリケーション作成アシスタントへ内容に対話形式で指示する際に、文字だけではなく画像ファイルやExcelファイルを添付して指示することが可能です。

手書き画像を添付



画面キャプチャを添付



Excel(仕様書など)を添付



A		B		C		D		E		F		G		H	
1		テーブル定義仕様書		テーブル物理名		案件情報管理マスタ		テーブル物理名		project_master					
2	明	案件名と案件の契約担当者を保持します。													
3	欄	案件情報を管理するテーブル													
4	No.	名称	物理名	型	サイズ	主キー	外部キー	NOT NULL							
5	1	案件番号	project_cd	文字列	10	●		●							
6	2	案件名	project_name	文字列	255			●							
7	3	案件種別	project_ctg	文字列	10			●							
8	4	案件情報登録日	project_create_date	日付				●							
9	5	契約先会社	customer_company_cd	文字列	100										
10	6	契約先会社郵便番号	customer_company_zip_cd	文字列	10										
11	7	契約先会社住所	customer_company_address	文字列	1000										
12	8	契約先担当者	customer_user_cd	文字列	100										
13	9	契約先電話番号	customer_tel	文字列	10										

生成AIを利用したアプリケーション開発のメリットと注意点

アプリケーション作成アシスタントのメリット



テキストやデータ、画像などの指示に基づいて、**イメージしたアプリケーションを素早く形に出来る**ため、簡単にプロトタイプ（サンプル、モック）を作成可能であり、設計・開発速度を向上し、アプリケーション開発における試行錯誤のサイクルを高速化させます。



素早くアプリの
イメージを具現化する



アシスタント利用時の注意点



- ✓ 本番運用するためのアプリケーションとして開発する場合は、生成されるデータ定義や画面・処理などはメンテナンス性やセキュリティを考慮した実装が必要になる場合があります。
- ✓ アプリケーション作成アシスタントはAccel Studioのテンプレートで定義されている範囲を超えた修正指示・実装はできません。



ローコード開発によるAIアシスタント開発

業務ロジック開発機能(IM-LogicDesigner)において、**AI連携処理がローコードで開発可能**になりました。
AIアシスタントを組み込んだ業務アプリを容易に開発でき、**利用者はAIによる業務支援を素早く活用**できます。

AIアシスタントの開発ステップ

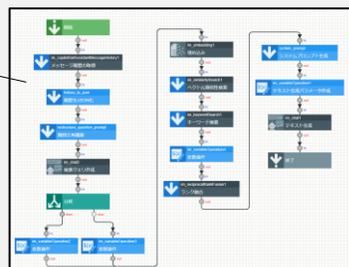
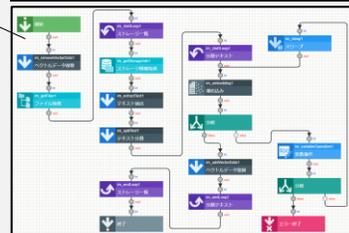
業務データを登録する処理、業務データをAIアシスタントが利用する処理、
AIアシスタント(チャット)を組み込んだ画面の作成をすべてローコード開発で実現

1. 業務データを抽出して登録する処理を作成
(ベクトルデータベースへの登録)

2. ユーザーの入力内容をAIに問い合わせて、
出力結果を生成する処理を作成

LD IM-LogicDesigner

ロジックフロー定義画面



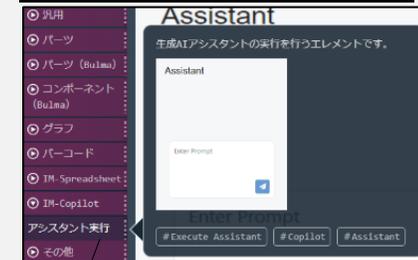
Co IM-Copilot

アシスタント定義画面

3. 作成したロジックフロー
をアシスタントとして定義して登録

BM IM-BloomMaker

アプリケーション開発画面



4. アシスタントを設置したい
画面にアシスタント実行部品
を配置して画面開発



ローコードによるアシスタント開発で生まれる価値

生成AIによる業務データ活用の幅が広がる

企業独自のデータ、ファイルのみでなく、外部サービスと連携した生成AI活用アプリケーションなども作成可能になり、利用者の生産性向上につなげることができる

独自のAI活用アプリケーションを素早くリリースできる

ローコードで開発した資材(IM-LogicDesignerやIM-BloomMaker)を本番運用環境にインポートするのみで簡単かつ素早くリリース可能

独自の要件にローコードで迅速に対応

ロジックフローを変更することで、独自のAI活用方法(検索処理や応答)に素早く対応可能なため、業務に特化した追加開発が必要な場合でもすぐにカスタマイズ可能



生成AI活用のユースケース

intra-martコミュニティサイト「icoNEO」内のコンテンツとして、生成AI活用のアプリケーション例やプロンプトなどを公開しているほか、intra-martユーザー会「IMUG」でも生成AIに関するイベントも開催しております。

icoNEOサイト

▶ <https://iconeo.intra-mart.jp/imart/login> (要アカウント登録)

生成AI活用ユースケースカタログ



IM-Copilot

デジタル業務改革を加速させるエンタープライズ・ローコード プラットフォーム「Accel Platform」上で、生成AIの力を活用したアプリケーション開発を支援する「IM-Copilot」。

IM-Copilotを使えば、プログラミングの知識がなくても、生成AIの力を借りて、高度なアプリケーションを手軽に作成できます。

IM-Copilotの詳細については、以下の利用ガイドをご覧ください。
IM-Copilot利用ガイド

生成AIを使い、業務効率化を支援するアプリケーションとプロンプト集

本カタログでは、IM-Copilotを使ったアプリケーション実装例や、生成AIを効果的に活用するためのプロンプト例を豊富に紹介しています。

アプリケーションやプロンプトを使って、業務効率化や問題解決につながるアイデアを形にしてみませんか？

デジタル業務改革の新たな一歩を踏み出すヒントが、きっと見つかるはずです。

アプリケーション例

プロンプト集

IM-Copilotを活用したアプリケーションで、業務の効率化と生産性向上を実現！

このアプリケーション例では、実際の業務で生成AIを使うとどれだけ業務効率化できるかを検証できます。



アプリケーション例

営業活動

営業活動履歴の把握／打ち合わせ内容の文字起こし／議事録作成／営業日報入力／提案書用画像作成

ヘルプデスク

問い合わせ内容の自動アサイン／問い合わせ履歴の把握／問い合わせ内容から問題点抽出／回答文章の作成／回答文章の校正



04

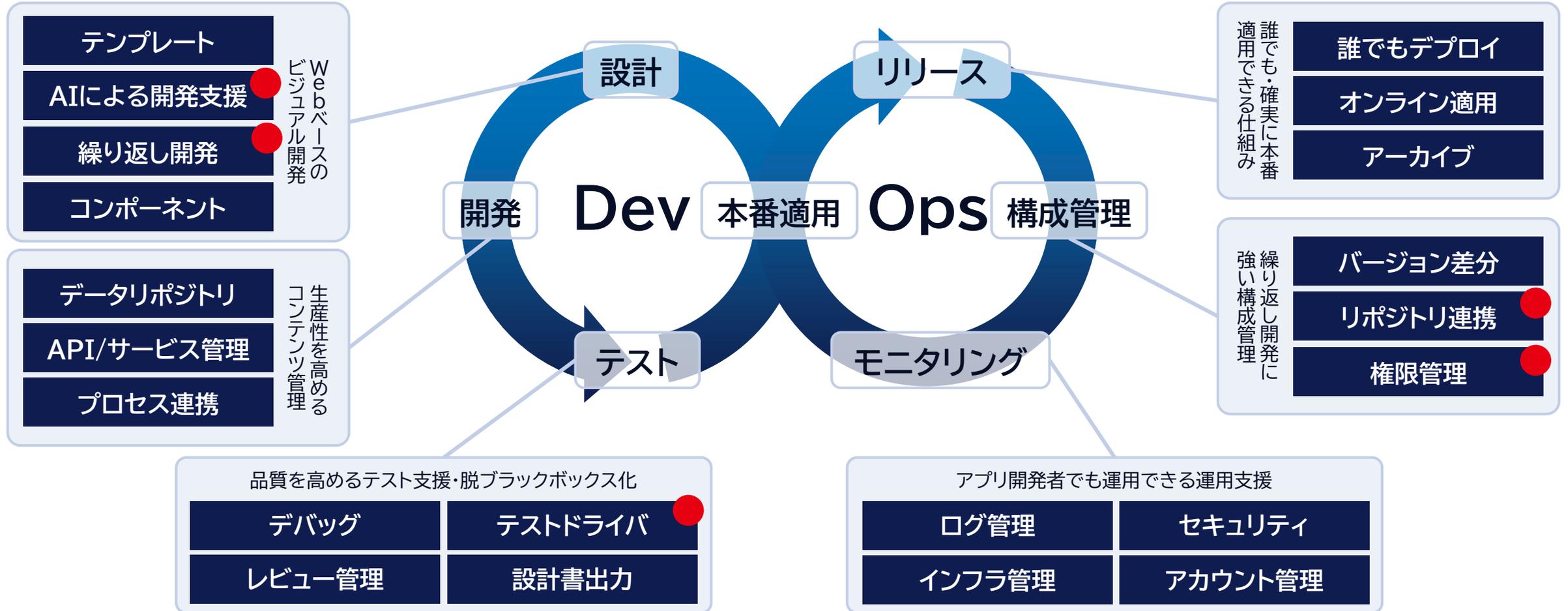
ローコード開発/DevOps機能



intra-mart Accel PlatformにおけるDevOps機能

intra-martのローコード開発は一般的なローコード開発と異なり、大規模システムの開発・運用に対応可能な各種DevOps機能を搭載しております。

● 2025 Spring 強化ポイント





ローコード開発を取り入れたDevOpsライフサイクルの各フェーズ

DevOpsは、業務システムの開発から運用までを連携させ、迅速かつ効率的なシステム構築と安定稼働を実現するための考え方です。**ビジネス部門とIT部門が密接に連携しながら、ローコード開発の特性を活かしたアジャイルな開発・運用サイクル**で、小さな単位で価値を素早く提供していくことが可能になります。

設計フェーズのアクション

プロトタイプ画面と業務フローで業務システムの改修案を合意する。



業務設計者 /
ビジネスアナリスト



UI/UX
デザイナー



システム利用者

リリース・本番適用フェーズのアクション

本番環境をリリースし、システムの運用を運用管理者に引き継ぐ。



開発エンジニア



運用管理利用者

開発・テストフェーズのアクション

プロトタイピングで合意した仕様に基づいて開発・テストを実施する。



UI/UX
デザイナー



開発エンジニア /
モジュール設計者

運用・構成管理フェーズのアクション

システムの運用状況を継続的に監視する。また、業務改善効果を確認する。



運用管理利用者



業務設計者 /
ビジネスアナリスト



システム利用者



ローコード開発・DevOps機能強化

Accel Studioの機能を更に強化し、開発者が**柔軟に開発環境を構築可能**になり、
また**システム開発、運用のサイクルを回す上で便利な機能を利用できる**ようになりました。

2025 Springでは主に以下のローコード開発/DevOps機能強化を行いました。

Accel Studio	対象アクター 業務設計者 / ビジネスアナリスト	UI/UX デザイナー	開発エンジニア / モジュール設計者	運用管理者 / システム利用者
ローコード開発アプリケーションのテスト機能を追加 ▶ E2Eテストの作成・繰り返し実行が可能になりました				
アプリケーション資材管理機能の強化 ▶ リポジトリ連携時に変更内容の差分表示が可能になりました				



ローコード開発アプリケーションのテスト機能を追加

Accel Studioで作成したアプリケーションのテストを自動化し、繰り返し実行することが可能になります。これにより、**テスト工程における手作業が減少**し、開発者はより重要な開発業務に集中できるようになります。

Accel Studio テスト機能

1. 作成したアプリケーションのテストを実行するためのテスト定義を作成

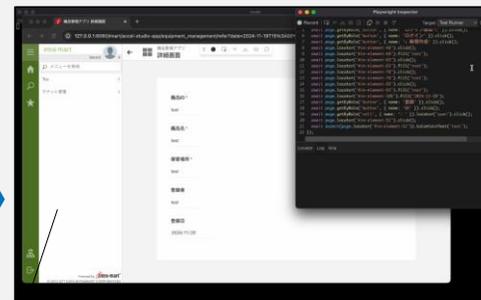
2. テスト実行前や後の処理をロジックフローで作成して、テスト定義に設定

Accel Studio

テスト定義画面

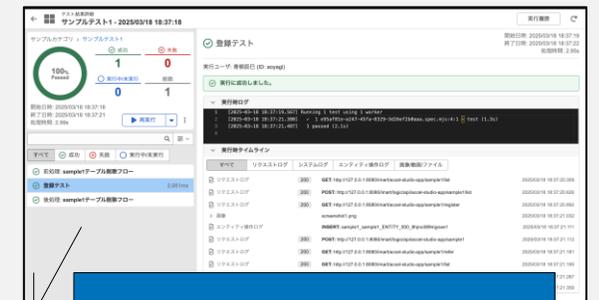


操作記録によるテストコードの作成



3. テスト実行エージェントのツール上でテスト操作を記録

テストの実行と結果確認

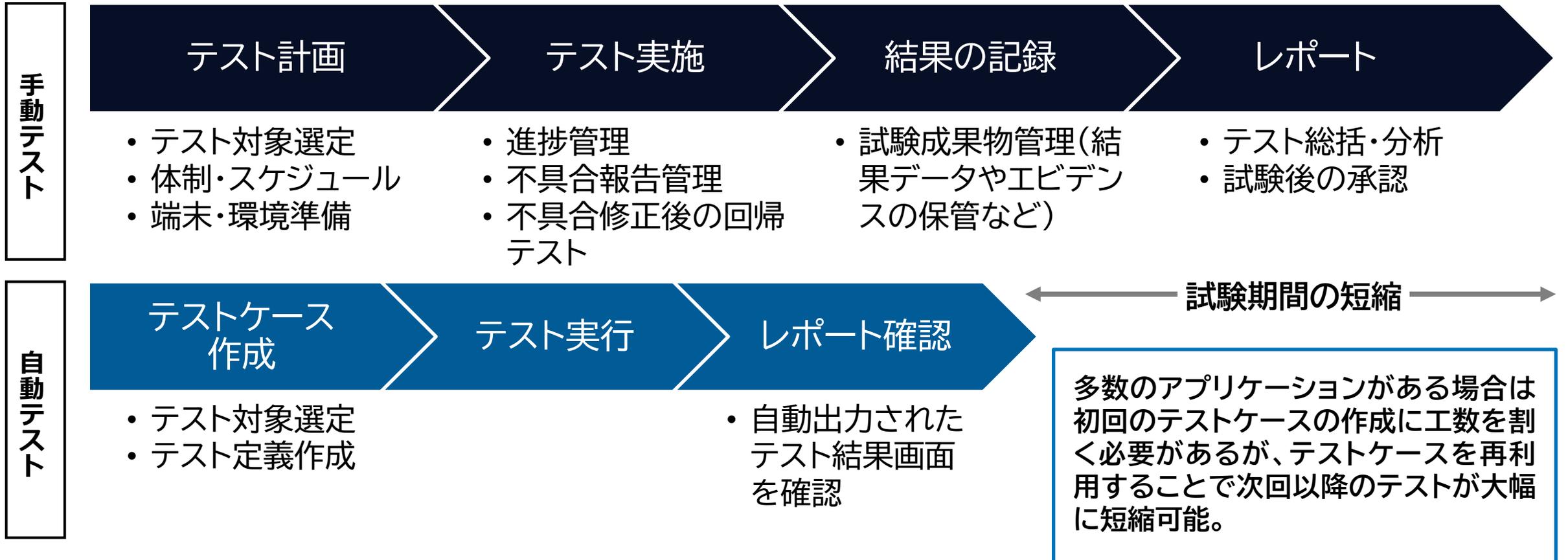


4. テスト実行ボタンを押下すると実行エージェントが自動でテストを実行し、画面上で結果の確認が可能



自動テストの導入による効果

業務システムのテストは時間もコストもかかりますが、システムの品質を保証するためには不可欠です。自動テスト機能を用いて開発スピードと品質の両立を実現し、開発生産性を向上させることが可能です。



※記載されている試験工程やタスクは一例です。



アプリケーション資材管理機能の強化

Accel Studioの「Git連携機能」がリモートリポジトリ連携時の差分表示が可能になりました。意図しない修正を未然に防ぎ、チーム開発におけるバージョン管理を強化し、よりスムーズな開発サイクルを実現します。

Git連携機能とは

作成したAccel Studioのアプリケーション資材をGitホスティングサービスのリモートリポジトリで管理する機能です。アプリケーションをリモートリポジトリにアップロードしておくことで、検証環境や本番環境など複数の環境にアプリケーションをリリースする際に、リモートリポジトリからアプリケーションをインポートできます。

インポート／エクスポート時の差分確認

差分確認画面

機能カテゴリ	定義カテゴリ	リソース名	説明
ロジック	ロジックフロー	テスト用アプリケーション#216041 WF未完了案件削除処理	業務テンプレート「シンプルなワークフロー」で作成されたフロー定義です。
テスト	シナリオテスト	imbq_test_216041	
テスト	シナリオテスト	test_0001	
画面	画面コンテンツ	テスト用アプリケーション#216041 WF画面	業務テンプレート「シンプルなワークフロー」で作成されたコンテンツです。
ドキュメント	Wiki	imbq_test_216041_wiki	
ドキュメント	ワークブック	imbq_test_216041_content	
ロジック	ロジックフロー	テスト用アプリケーション#216041 ユーザデータ削除処理	業務テンプレート「シンプルなワークフロー」で作成されたフロー定義です。
ロジック	ロジックフロー	テスト用アプリケーション#216041 ユーザデータ取得処理	業務テンプレート「シンプルなワークフロー」で作成されたフロー定義です。

差分表示

アプリケーション構成の影響	リソースの影響
関連削除	なし
なし	更新
関連追加	新規
なし	更新

対応しているGitホスティングサービス

GitHub





05

BPM機能



BPM機能追加、開発者向けドキュメントの公開

タスク差配やKPI設定が可能なプロセスモニタ画面を追加し、プロセス実行状況の可視化が容易になりました。
また、開発者向けに高度な業務プロセス改善を実現していただくためのドキュメントの改善を実施しました。

2025 Springでは主に以下の機能強化、改善を行いました。

	対象アクター	業務設計者 / ビジネスアナリスト	UI/UX デザイナー	開発エンジニア / モジュール設計者	運用管理者 / システム利用者
IM-BPM					
<p>プロセスモニタ画面を追加</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ プロセス実行状況の確認やタスク差配、KPI設定が可能 					
<p>開発ドキュメントの改善(IM-BPM仕様書) ※</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ 開発者向けに、詳細な引数仕様などを追記 					

※詳細はIM-BPM仕様書をご確認ください。https://document.intra-mart.jp/library/bpm/public/im_bpm_specification/index.html

プロセスモニタ画面を追加

プロセスモニタリングが可能な画面を標準提供します。タスク実行状況の可視化や差配により、業務管理者は**リアルタイムな業務状況把握や負荷分散などが可能**になり、業務効率の向上に貢献します。

IM-BPM プロセスモニタ機能

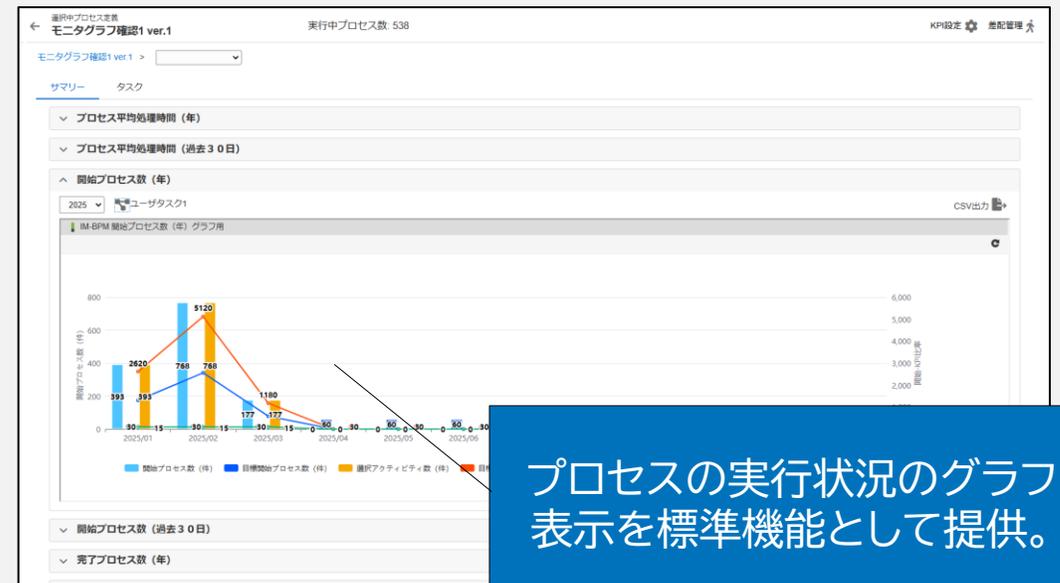
プロセスモニタ機能はプロセス実行状況のグラフ表示、タスク差配機能、KPI設定機能が提供されており、プロセスが可視化されるだけでなく、目標を設定して進捗・達成状況を確認することも可能です。

プロセスモニタ機能のプロセス定義一覧画面

プロセス定義	実行中プロセス数	プロセス平均処理時間	開始プロセス数	完了プロセス数
プロセス定義 ID:procTest1:1.8h7zwdq9fk3s プロセス1 ver. 1	全期間 0 過去30日 -	全期間 1d 22h 49m 30s 過去30日 0s	全期間 1 過去30日 0	全期間 1 過去30日 0
プロセス定義 ID:monitorGraph1:1.8h7zvrha0ggo3s モニタグラフ確認1 ver. 1	全期間 538 過去30日 -	全期間 14d 4h 11m 1s 過去30日 14d 10h 45m 38s	全期間 1366 過去30日 712	全期間 828 過去30日 710
プロセス定義 ID:monitorGraph2:1.8h7zyc3o1au53s モニタグラフ確認2 ver. 1	全期間 0 過去30日 -	全期間 1d 8h 過去30日 1d 15h 20m	全期間 4 過去30日 3	全期間 4 過去30日 3
プロセス定義 ID:monitorGraph3:1.8h7zyc751uy53s モニタグラフ確認3 ver. 1	全期間 35 過去30日 -	全期間 14d 1h 過去30日 14d 1h	全期間 65 過去30日 65	全期間 30 過去30日 30
プロセス定義 ID:monitorGraph4:1.8h9d72ncvz3s モニタグラフ確認4 ver. 1	全期間 1 過去30日 -	全期間 0s 過去30日 0s	全期間 1 過去30日 1	全期間 0 過去30日 0

各プロセスの実行状況を一覧で確認可能。
実行中プロセス数や平均処理時間が表示可能で、
業務全体の実行状況を把握できます。

プロセスモニタ機能のモニタリング画面



プロセスの実行状況のグラフ
表示を標準機能として提供。

プロセスモニタ機能からのタスク差配

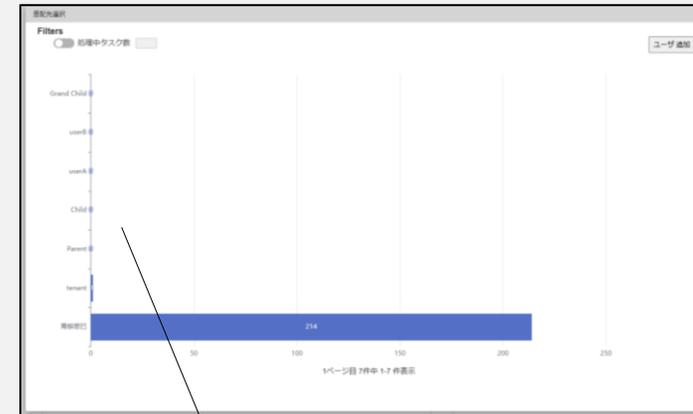
プロセスモニタ機能内から実行中タスクを確認して、タスクの担当者を変更することが可能です。
これにより、遅延しているタスクの担当者を迅速に変更するなど、業務効率を向上させることが可能です。

モニタリング画面内の実行中タスク一覧

業務キー	タスク名	残り日数	期限日	経過時間	担当者
bizKey_monitorGraph1_1	ユーザタスク1	-10	2025/03/04 3:05:49	9h 58m 43s	青柳 辰巳
bizKey_monitorGraph1_2	ユーザタスク1	-10	2025/03/04 3:05:49	8h 58m 43s	青柳 辰巳
bizKey_monitorGraph1_3	ユーザタスク1	-9	2025/03/05 3:05:49	7h 58m 43s	上田 辰男
bizKey_monitorGraph1_4	ユーザタスク1	-9	2025/03/05 3:05:49	6h 58m 43s	上田 辰男
bizKey_monitorGraph1_5	ユーザタスク1	-9	2025/03/05 3:05:49	5h 58m 43s	関根 千香
bizKey_monitorGraph1_6	ユーザタスク1	-9	2025/03/05 3:05:49	4h 58m 43s	関根 千香
bizKey_monitorGraph1_7	ユーザタスク1	-9	2025/03/05 3:05:49	3h 58m 43s	青柳 辰巳
bizKey_monitorGraph1_8	ユーザタスク1	-8	2025/03/06 3:05:49	2h 58m 43s	青柳 辰巳
bizKey_monitorGraph1_9	ユーザタスク1	-8	2025/03/06 3:05:49	1h 58m 43s	上田 辰男
bizKey_monitorGraph1_10	ユーザタスク1	-8	2025/03/06 3:05:49	58m 43s	上田 辰男

1. タスクの「残り日数」「経過時間」などを確認し、遅延しているタスクを特定して選択

差配先選択(タスク担当者の変更)



2. 差配先選択画面を表示し、担当者ごとの実行中のタスクを確認して負荷がかかっていない担当者に変更する

KPIを設定した目標管理

プロセスモニタ機能では各プロセスのKPIが設定可能です。対象の期間のプロセスに目標を設定し、目標と実績をグラフで確認し、**業務管理者や経営者が問題点を早期に特定可能**になります。

KPI設定画面

KPI設定

プロセス1 ver.1

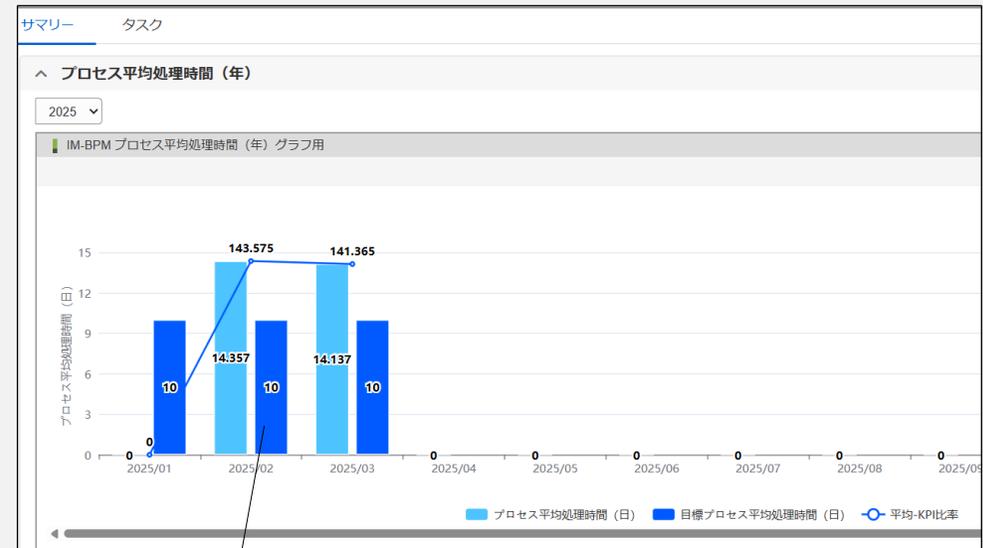
プロセス アクティビティ

プロセス処理時間 開始プロセス数 (月) 完了プロセス数 (月)

更新範囲 2025年01月 - 2025年03月 目標プロセス処理時間 10 日 0 時間 0 分 0 秒 最終更新者 青柳辰巳

1. プロセスの処理時間や数の目標を指定

モニタリング画面



2. プロセスの目標と実績の進捗状況をグラフで確認



06

その他のアップデート



ユーザーエクスペリエンス向上

製品を使いやすく魅力的に感じていただくために、デザインの改善や最適化を継続して実施しています。
2025 Springではユーザーエクスペリエンス向上を目的とした機能追加や改善を実施しました。

2025 Springでは主に以下の機能強化、改善を行いました。

UI/UX	対象アクター 業務設計者 / ビジネスアナリスト	UI/UX デザイナー	開発エンジニア/ モジュール設計者	運用管理者/ システム利用者
<p>ポータル管理(ローコード版)の追加</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ IM-BloomMakerで開発可能なポータル機能を追加 				
<p>ViewCreatorのデータ参照画面デザインの変更</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ 見やすく、かつ、操作しやすいデザインに変更 				
<p>Accel Platform MobileにNFC読み取り機能を追加</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ スマートフォンをかざして特定のアプリを起動、など 				

ポータル管理(ローコード版)の追加

ローコード開発で管理可能な新しいポータル管理画面が追加されました。

ビジネスニーズに合わせたポータル構築が、より迅速かつ柔軟に行えるようになります。

IM-Portal(ローコード版)の追加

ポートレットはIM-BloomMakerを利用した開発、管理が可能です。
※既存のポートレットも管理、表示可能です。

ローコード版ポータル画面

The screenshot displays the Intra-mart portal management interface. It features a sidebar with navigation options like 'メニューを構築' (Build Menu), 'BloomMaker', 'Accel Studio', 'LogicDesigner', 'Repository', 'BPM', 'Workflow', 'IM-BIS', 'Collaboration', 'テナント管理' (Tenant Management), 'BPM', and 'サンプル' (Samples). The main content area is divided into several sections: 'お知らせ' (Announcements) with a list of items, 'タスク' (Tasks) with a list of tasks and their status, 'リンク集' (Link Collection) with a list of links, and 'スケジュール' (Schedule) with a calendar view for the month of July 2023.

※上記画面は今後提供予定の開発中のポートレットが含まれます。

ポータル管理(ローコード版)のポイント



ローコードでのポートレット開発により、
迅速な機能提供が可能



スマートフォンやタブレットなどのモバイル
端末でも快適に利用できるポートレッ
トの対応

標準提供ポートレットは
今後のアップデートにて追加予定

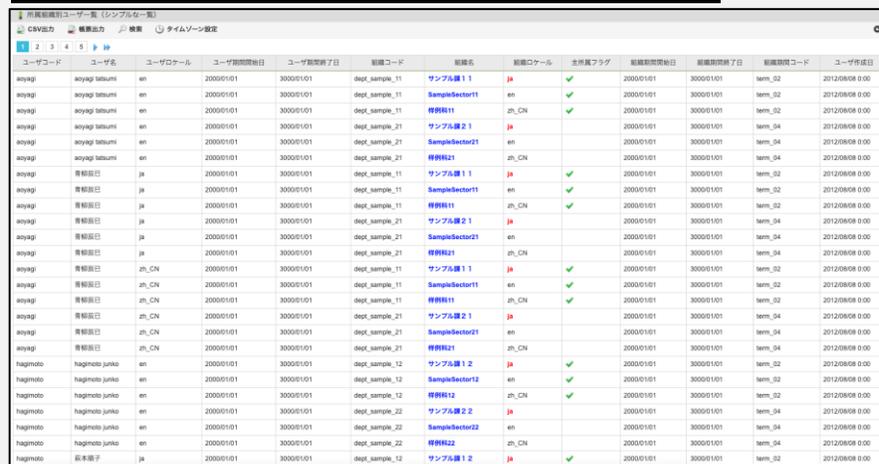
データ参照画面デザインの変更(ViewCreator)

ViewCreatorのデータ参照(リスト集計)画面のデザインが変更されました。
グループ化や検索などの機能は変わらずご利用いただけます。

データ参照画面デザインの変更

デザインガイドライン「[IM-DesignSystem](#)」に沿ったUI/UXデザインに変更され、より見やすく操作性の高い画面をご利用いただけます。

これまでのデータ参照画面



ユーザコード	ユーザ名	ユーザーロール	ユーザ期間開始日	ユーザ期間終了日	組織コード	組織名	組織ローカール	主所属フラグ	組織期間開始日	組織期間終了日	組織期間コード	ユーザ作成日
aoyagi	aoyagi tatsumi	en	2000/01/01	3000/01/01	dept_sample_11	サンプル集 1 1	ja	✓	2000/01/01	3000/01/01	term_02	2012/08/08 0:00
aoyagi	aoyagi tatsumi	en	2000/01/01	3000/01/01	dept_sample_11	SampleSector1	en	✓	2000/01/01	3000/01/01	term_02	2012/08/08 0:00
aoyagi	aoyagi tatsumi	en	2000/01/01	3000/01/01	dept_sample_11	サンプル集 1 1	zh_CN	✓	2000/01/01	3000/01/01	term_02	2012/08/08 0:00
aoyagi	aoyagi tatsumi	en	2000/01/01	3000/01/01	dept_sample_21	サンプル集 2 1	ja	✓	2000/01/01	3000/01/01	term_04	2012/08/08 0:00
aoyagi	aoyagi tatsumi	en	2000/01/01	3000/01/01	dept_sample_21	SampleSector21	en	✓	2000/01/01	3000/01/01	term_04	2012/08/08 0:00
aoyagi	aoyagi tatsumi	en	2000/01/01	3000/01/01	dept_sample_21	サンプル集 2 1	zh_CN	✓	2000/01/01	3000/01/01	term_04	2012/08/08 0:00
aoyagi	青柳辰巳	ja	2000/01/01	3000/01/01	dept_sample_11	サンプル集 1 1	ja	✓	2000/01/01	3000/01/01	term_02	2012/08/08 0:00
aoyagi	青柳辰巳	ja	2000/01/01	3000/01/01	dept_sample_11	SampleSector1	en	✓	2000/01/01	3000/01/01	term_02	2012/08/08 0:00
aoyagi	青柳辰巳	ja	2000/01/01	3000/01/01	dept_sample_11	サンプル集 1 1	zh_CN	✓	2000/01/01	3000/01/01	term_02	2012/08/08 0:00
aoyagi	青柳辰巳	ja	2000/01/01	3000/01/01	dept_sample_21	サンプル集 2 1	ja	✓	2000/01/01	3000/01/01	term_04	2012/08/08 0:00
aoyagi	青柳辰巳	ja	2000/01/01	3000/01/01	dept_sample_21	SampleSector21	en	✓	2000/01/01	3000/01/01	term_04	2012/08/08 0:00
aoyagi	青柳辰巳	zh_CN	2000/01/01	3000/01/01	dept_sample_21	サンプル集 2 1	zh_CN	✓	2000/01/01	3000/01/01	term_04	2012/08/08 0:00
hagimoto	hagimoto junko	en	2000/01/01	3000/01/01	dept_sample_12	サンプル集 1 2	ja	✓	2000/01/01	3000/01/01	term_02	2012/08/08 0:00
hagimoto	hagimoto junko	en	2000/01/01	3000/01/01	dept_sample_12	SampleSector12	en	✓	2000/01/01	3000/01/01	term_02	2012/08/08 0:00
hagimoto	hagimoto junko	en	2000/01/01	3000/01/01	dept_sample_12	サンプル集 1 2	zh_CN	✓	2000/01/01	3000/01/01	term_02	2012/08/08 0:00
hagimoto	hagimoto junko	en	2000/01/01	3000/01/01	dept_sample_22	サンプル集 2 2	ja	✓	2000/01/01	3000/01/01	term_04	2012/08/08 0:00
hagimoto	hagimoto junko	en	2000/01/01	3000/01/01	dept_sample_22	SampleSector22	en	✓	2000/01/01	3000/01/01	term_04	2012/08/08 0:00
hagimoto	hagimoto junko	en	2000/01/01	3000/01/01	dept_sample_22	サンプル集 2 2	zh_CN	✓	2000/01/01	3000/01/01	term_04	2012/08/08 0:00
hagimoto	坂本麻子	ja	2000/01/01	3000/01/01	dept_sample_12	サンプル集 1 2	ja	✓	2000/01/01	3000/01/01	term_02	2012/08/08 0:00



2025 Spring移行のデータ参照画面



ユーザコード	ユーザ名	ユーザーロール	ユーザ期間開始日	ユーザ期間終了日	組織コード	組織名	組織ローカール	主所属フラグ	組織期間開始日	組織期間終了日	組織期間コード	ユーザ作成日
aoyagi	aoyagi tatsumi	en	2000/01/01	3000/01/01	1	サンプル集 1 1	zh_CN	✓	2000/01/01	3000/01/01	term_02	2012/08/08 0:00
aoyagi	aoyagi tatsumi	en	2000/01/01	3000/01/01	dept_sample_2 1	サンプル集 2 1	ja	✓	2000/01/01	3000/01/01	term_04	2012/08/08 0:00
aoyagi	aoyagi tatsumi	en	2000/01/01	3000/01/01	dept_sample_2 1	SampleSector 21	en	✓	2000/01/01	3000/01/01	term_04	2012/08/08 0:00
aoyagi	aoyagi tatsumi	en	2000/01/01	3000/01/01	dept_sample_2 1	サンプル集 2 1	zh_CN	✓	2000/01/01	3000/01/01	term_04	2012/08/08 0:00
aoyagi	青柳辰巳	ja	2000/01/01	3000/01/01	dept_sample_1 1	サンプル集 1 1	ja	✓	2000/01/01	3000/01/01	term_02	2012/08/08 0:00
aoyagi	青柳辰巳	ja	2000/01/01	3000/01/01	dept_sample_1 1	SampleSector 11	en	✓	2000/01/01	3000/01/01	term_02	2012/08/08 0:00
aoyagi	青柳辰巳	ja	2000/01/01	3000/01/01	dept_sample_1 1	サンプル集 1 1	zh_CN	✓	2000/01/01	3000/01/01	term_02	2012/08/08 0:00
aoyagi	青柳辰巳	ja	2000/01/01	3000/01/01	dept_sample_2 1	サンプル集 2 1	ja	✓	2000/01/01	3000/01/01	term_04	2012/08/08 0:00
aoyagi	青柳辰巳	ja	2000/01/01	3000/01/01	dept_sample_2 1	SampleSector 21	en	✓	2000/01/01	3000/01/01	term_04	2012/08/08 0:00
aoyagi	青柳辰巳	ja	2000/01/01	3000/01/01	dept_sample_2 1	サンプル集 2 1	zh_CN	✓	2000/01/01	3000/01/01	term_04	2012/08/08 0:00
aoyagi	青柳辰巳	zh_CN	2000/01/01	3000/01/01	dept_sample_1 1	サンプル集 1 1	ja	✓	2000/01/01	3000/01/01	term_02	2012/08/08 0:00
aoyagi	青柳辰巳	zh_CN	2000/01/01	3000/01/01	dept_sample_1 1	SampleSector 11	en	✓	2000/01/01	3000/01/01	term_02	2012/08/08 0:00
aoyagi	青柳辰巳	zh_CN	2000/01/01	3000/01/01	dept_sample_2 1	サンプル集 2 1	ja	✓	2000/01/01	3000/01/01	term_04	2012/08/08 0:00
aoyagi	青柳辰巳	zh_CN	2000/01/01	3000/01/01	dept_sample_2 1	SampleSector 21	en	✓	2000/01/01	3000/01/01	term_04	2012/08/08 0:00



NFC読み取り機能を追加(Accel Platform Mobile)

intra-martで作成した業務アプリケーションをスマートフォンアプリから利用可能なモバイルアプリケーション「Accel Platform Mobile」にNFC読み取り機能が追加されました。

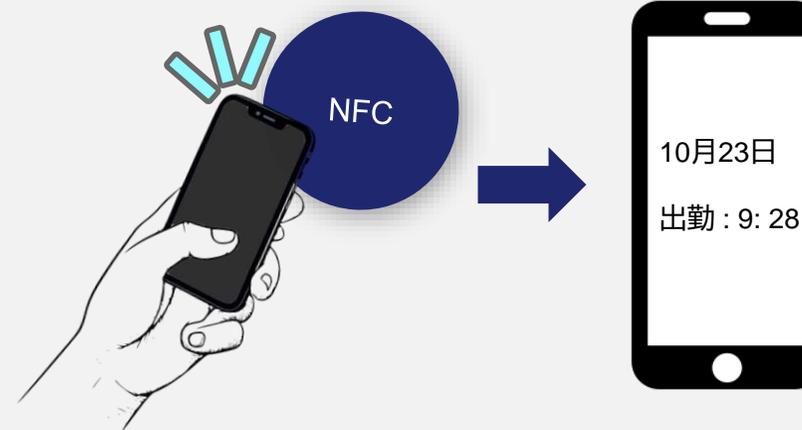
NFC読み取り機能

これまで



ログイン後、所定のアプリケーション画面で、入力や選択をした上で、ユーザの操作が必要

NFC読み取り



NFCタグに端末をかざすだけで、アプリケーションの起動、実行が可能で、ユーザの操作が不要になります。



07

Appendix



2025 Springで強化/改善された機能のエディション別比較表

機能	Customer Success License			ASEAN		永続ライセンス			Accel-Mart Plus
	Professional	Advanced	Basic	Low-Code	Pro-Code	Enterprise	Advanced	Standard	
IM-Copilot									
アプリ自動生成(Accel Studio)	○	○		○*1		○*1	○*1		○*2
ローコード開発アシスタント	○	○		○*1		○*1	○*1		○*2
Accel Studio									
テスト機能	○	○		○		○			○
Git連携	○	○		○		○			○
VCデータ参照一覧・権限管理	○	○	○	○	○	○	○	○	○
IM-BPM	○					*3	*3		*3
ポータル管理(ローコード板)	○	○		○		○			○
Accel Mobile NFC対応	○	○	○	○	○				*3

*1 2025Spring以降対応 *2 2025年4月30日リリース予定 *3 オプション



その他のアップデート内容

その他の、2025 Springバージョンで行われたアップデートの概要は以下の通りです。

IM-BPM

- IM-BPM仕様書に、開発時に頻繁に利用するパラメータ仕様とその利用例を記載しました。
IM-BPM仕様書 https://document.intra-mart.jp/library/bpm/public/im_bpm_specification/index.html

IM-Workflow

- 無効ユーザーが処理対象者になっている場合、「処理対象者なし検出ジョブ」の検出対象になりました。

IM-BIS

- フロー編集画面において、フローの参照画面が設定可能になりました。

IM-Repository

- データ定義に楽観的排他制御に関する設定が追加されました。
エンティティ項目に楽観的排他制御を設定することで、更新対象のデータの整合性が保証されます。



その他のアップデート内容

Accel Studio

- 多言語メッセージのインポート・エクスポート機能(Excelファイル)が追加されました。
- マスタメンテナンステンプレートに主キーを自動採番するオプションが追加されました。
- ViewCreatorのデータ参照をリソース管理している場合、データ参照の認可設定の更新が可能になりました。

IM-BloomMaker

- 各種エレメント及びアクションアイテムの不具合が修正されました。
- リッチテーブルの日時に関するオプションにサマータイム対応に関する設定が追加されました。
- サイトメニューコンテナのメニュー項目が認可設定に対応し、認可設定に従って表示・非表示が可能になりました。

ViewCreator

- データ参照のアクセス権設定を変更し、利用者の権限に合わせたメニュー設定が可能になりました。
- SQLビルダ アシスタントがAmazon Bedrockに対応しました。(Azure Open AIは今後対応予定)



その他のアップデート内容

intra-mart Accel Applicationシリーズ

- 下記製品を Oracle Database 23ai に対応しました。

intra-mart Accel Documents

intra-mart Accel Kaiden!

intra-mart Accel GroupMail

※その他の製品(Accel Archiver, Accel Collaboration(アンケート機能含む), IM-PDFシリーズは2024 Autumnにて対応済み



2025 Spring アップデート対象製品

以下の製品は、2025 Springでアップデートが実施されます。

アップデート対象のOEM製品

- intra-mart Accel Archiver
- intra-mart Accel Kaiden!
- intra-mart Accel GroupMail
- IM-PDFAutoConverter
- IM-PDFCoordinator
- IM-PDFDesigner/Designer Fullpack
- IM-PDFDirectPrint
- IM-PDFTimeStamper

アップデート内容が無いOEM製品

下記製品は、2025 Springでアップデート内容はありません。

- intra-mart Accel Collaboration アンケート



システム要件のアップデート

サーバ要件

〔サポート対象追加〕

- Windows Server 2025
- Resin Pro 4.0.67
- PostgreSQL 17
- JDK 21
(Oracle JDK 21、OpenJDK 21(Red Hat製)、Amazon Corretto 21)

〔サポート対象削除〕

- PostgreSQL 12
2024年11月14日標準サポート終了のため

クライアント要件

〔バージョン更新〕

- クライアントOS/クライアントブラウザ
各最新バージョンに追随(※)

※詳細はリリースノート(製品ドキュメントサイト)をご確認ください

https://document.intra-mart.jp/library/iap/public/iap_release_note/index.html



2025 Springで連携可能な生成AIサービス・利用条件

連携可能な生成AIサービス

- OpenAI (※1)
- Azure OpenAI Service (※1)
- Amazon Bedrock (※2)

- 各サービスは別途契約が必要です。
- 各サービスを複数利用(併用)できません。サービスごとに利用可能な機能が異なります。(次ページの機能対応表を参照)

利用条件

対象エディション

- 【カスタマーサクセスライセンス】
 - アドバンスエディション
 - プロフェッショナルエディション
- 【永続ライセンス】
 - アドバンスエディション(※3)
 - エンタープライズエディション(※3)
- 【ASEAN地域向けライセンス】
 - ローコードエディション

※1: intra-mart Accel Platform 2024 Spring以降のバージョンで環境を作成する必要があります。

※2: intra-mart Accel Platform 2024 Autumn以降のバージョンで環境を作成する必要があります。

※3: 2025 Spring以降でご利用いただけます。2024 Autumn以前の永続ライセンスのエディションではご利用いただけません。



生成AI連携機能(IM-Copilot)を利用する場合の注意事項

ベクトルデータベースについて

IM-CopilotでRAG機能を利用する場合、ベクトルデータベースの追加が必要となります。サポート対象は下記の2製品です。

- Apache Solr 9.6 (※1)
- pgvector (※2)

(※1)2024 Spring以前でSolrをご利用の場合(IM-ContentsSearchご利用者)、バージョンアップが必要になります(8→9)。

(※2)すでにPostgreSQLをご利用の場合、エクステンションの追加が必要になります。

生成AIサービス 機能対応表

	Wikiアシスタント	SQL自動生成 (ViewCreator)	Accel Studio アシスタント	IM-LogicDesigner IM-Copilot関連タスク
OpenAI	○	○	○	○
Azure OpenAI Service	○	×	○	○
Amazon Bedrock	○	○	○	○



その他の提供内容

「ミドルウェア対応ロードマップ(2024Spring-2026Autumn)」

intra-mart Accel Platformに対応するのミドルウェア製品について、今後三か年でどのような対応をしていくか整理した「ミドルウェア対応ロードマップ(2024Spring-2026Autumn)」を公開しております。

資料は弊社コミュニティサイトのicoNEO上からご確認いただけます。

<https://iconeo.intra-mart.jp/imart/knowledge/contents/wiki/partner/製品・サービス資料>



その他のアナウンス事項

wkhtmltopdf関連

Accel Platform/Accel-Mart Plus では、PDF出力機能を実現するために wkhtmltopdf ツールを使用しておりましたが、wkhtmltopdf は 2023年1月 にアーカイブされたため、サポート対象外とさせていただいております。

そのため、今後も wkhtmltopdf を利用される場合、予期せぬ問題が発生する可能性があります。

イントラマートとしての対応方針

- 製品標準機能で wkhtmltopdf を利用している箇所は、ブラウザ印刷を利用した代替機能を提供しています
- お客様独自の画面ではブラウザ印刷を利用するか、IM-PDFAutoConverter の新機能をご利用ください



FAQ及び詳細資料をご案内しておりますので、詳細情報は下記をご覧ください。

【FAQ】wkhtmltopdfをご利用のお客様、HTML画面のPDF出力をご検討のお客様へのご案内
<https://product.intra-mart.support/hc/ja/articles/36748979822873>



要件情報公開サイトについて

本資料は要件情報公開サイトに記載されている内容のうち、主要なアップデートについて記載しています。

本資料に記載のないアップデート情報、各アップデート内容の詳細を確認したい場合は、要件情報公開サイトを併せてご利用ください。



intra-mart要件情報公開サイト
<https://issue.intra-mart.jp/>

The screenshot shows the 'intra-mart 要件情報公開サイト' interface. A search bar at the top contains the text '検索: 37020'. A dropdown menu is open, listing various project categories such as 'Accel Platform Mobile', 'Accel Studio', 'Intra-mart Web Platform / Applicatio...', 'eBuilder', 'IM-Annotation', 'IM-BIS', 'IM-BloomMaker for Accel Platform', 'IM-BPM', 'IM-ContentsSearch 7.2', 'IM-ERPリアルコネクト', 'IM-ExApply', 'IM-FormaDesigner', 'IM-Mail', 'IM-MobileFramework', 'IM-PDFAutoConverter', and 'IM-PDFCoordinator'. A red box highlights the search bar and the dropdown menu. A red callout box points to the search bar with the text 'チケット番号による検索'. A green callout box points to the dropdown menu with the text 'カテゴリによる検索' and '機能・製品ごとに検索できます'. On the right, a table of issues is visible, with a red box highlighting the 'チケット番号' column. A green dashed box highlights the URL 'https://issue.intra-mart.jp/projects/bpm' in the list of links below.

チケット番号による検索

カテゴリによる検索
機能・製品ごとに検索できます

- <https://issue.intra-mart.jp/projects/iap>
- <https://issue.intra-mart.jp/projects/iac>
- <https://issue.intra-mart.jp/projects/bpm>



要件情報公開サイト: 2025 Spring 対応要件へのリンク 1

製品・機能	対応要件一覧URL
intra-mart Accel Platform	https://issue.intra-mart.jp/projects/iap/issues?query id=1080
Accel Studio	https://issue.intra-mart.jp/projects/accelstudio/issues?query id=1081
IM-BloomMaker	https://issue.intra-mart.jp/projects/bloommaker/issues?query id=1065
IM-BIS	https://issue.intra-mart.jp/projects/bis/issues?query id=1064
IM-FormaDesigner	https://issue.intra-mart.jp/projects/forma/issues?query id=1067
IM-Spreadsheet	https://issue.intra-mart.jp/projects/spreadsheet/issues?query id=1074
IM-BPM	https://issue.intra-mart.jp/projects/bpm/issues?query id=1066
Accel Platform Mobile	https://issue.intra-mart.jp/projects/smacolow/issues?query id=1087
IM-PDFAutoConverter	https://issue.intra-mart.jp/projects/pdfconv/issues?query id=1068
IM-PDFCoordinator	https://issue.intra-mart.jp/projects/pdfcrd/issues?query id=1069
IM-PDFDesigner	https://issue.intra-mart.jp/projects/pdfdes/issues?query id=1070



要件情報公開サイト: 2025 Spring 対応要件へのリンク 2

製品・機能	対応要件一覧URL
IM-PDFDirectPrint	https://issue.intra-mart.jp/projects/pdfdp/issues?query id=1071
IM-PDFTimeStamper	https://issue.intra-mart.jp/projects/pdfts/issues?query id=1072
IM-RPA	https://issue.intra-mart.jp/projects/rpa/issues?query id=1073
e Builder	https://issue.intra-mart.jp/projects/ebuilder/issues?query id=1082
intra-mart Accel Collaboration	https://issue.intra-mart.jp/projects/iac/issues?query id=1076
intra-mart Accel Kaiden!	https://issue.intra-mart.jp/projects/iak/issues?query id=1079
intra-mart Accel Archiver	https://issue.intra-mart.jp/projects/iaa/issues?query id=1075
intra-mart Accel Documents	https://issue.intra-mart.jp/projects/iad/issues?query id=1077
intra-mart Accel GroupMail	https://issue.intra-mart.jp/projects/iag/issues?query id=1078



開発者向けポータルサイト「Developer Portal」

開発者にわかりやすく各種情報・ドキュメントを案内するサイトを公開しております。
intra-martの各種開発情報の収集にご利用ください。

サイト概要

▶ <https://dev-portal.intra-mart.jp/>

Developer Portal



製品ドキュメント、YouTubeチャンネルコンテンツなど、intra-mart関連情報の集約サイトです。
ローコード開発情報専用ページ「ローコードポータル」も本サイトからご覧いただけます。

ローコードポータル



intra-martのローコードツールを使用した開発に関する、専用ポータルサイトです。
開発フェーズごとのローコード開発ツール利用方法、各製品にフォーカスした活用事例記事などを公開しています。

アセスメントサービスのご案内

intra-martのアップデート/バージョンアップをご検討中のお客様に対して、ご利用中の環境を調査するサービスをご提供しております。

アップデート・バージョンアップに関する課題

-  最新バージョンへの移行に不安がある
-  現行システムへの影響範囲が不明確
-  移行作業に必要な期間やコストを把握したい
-  移行後のパフォーマンスが心配

弊社へご相談ください！

アセスメントサービスご提供内容

状況ヒアリング・お見積もり

現行システムの構成や課題をヒアリングし、アセスメント内容と費用をお見積もり致します。

アセスメント実施

現行システムの状態を調査します。問題点を洗い出し、概算見積を作成致します。

レポートのご提出

アセスメント結果報告書、システム構成レポート、ユーザアプリ規模レポートなどのレポートを提出いたします。

アセスメント実施後の移行作業もご支援します。



お問い合わせ

- 当資料は、アップデートの主要トピックスに限定した説明資料です。アップデートに関する情報は、要件情報公開サイトをご参照下さい。

▶ <https://issue.intra-mart.jp/>

- システム要件や制限事項につきましては、各製品のリリースノートを必ずご確認ください。

▶ <https://www.intra-mart.jp/document/library/>



ご質問等ございましたら、下記へお問い合わせください。



株式会社エヌ・ティ・ティ・データ・イントラマート
セールス & マーケティング本部

Eメール: contact@intra-mart.jp

Webフォーム: <https://www.intra-mart.jp/inquiry.html>

改訂履歴



更新日	更新箇所	概要
2025/03/31		初版作成

A hand is shown from the bottom, cupping a glowing globe. The globe is surrounded by a complex network of white lines and dots, resembling a data network or a globe with a digital overlay. The background is dark blue with bokeh light effects. The logo 'intra-mart' is centered over the globe. The 'i' is red and stylized with a dot. 'ntra-mart' is in white, serif font. A registered trademark symbol (®) is to the right of 'mart'.

*i*ntra-mart[®]